

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 5832 URL <https://www.chugin-fg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 貞則  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 剣持 直紀 (TEL) 086-223-3110  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月16日 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	183,586	—	29,593	—	20,477	—
2022年3月期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期  $\Delta 16,966$ 百万円(—%) 2022年3月期 ー百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	110.96	110.80	3.7	0.2	16.1
2022年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 当社は2022年10月3日設立のため、2022年3月期の計数及び対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	9,849,678	527,894	5.3	2,872.19
2022年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年3月期 527,622百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 1. 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 当社は2022年10月3日設立のため、2022年3月期の計数は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	$\Delta 403,482$	164,298	$\Delta 7,844$	1,506,361
2022年3月期	—	—	—	—

(注) 当社は2022年10月3日設立のため、2022年3月期の計数は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
2023年3月期	—	—	—	16.00	16.00	2,939	14.4	0.5
2024年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00	—	36.2	—

(注) 1. 当社は2022年10月3日設立のため、2022年3月期及び2023年3月期第2四半期末までの計数は記載しておりません。

2. 2023年3月期は、単独株式移転により当社の完全子会社となった株式会社中国銀行が1株あたり14円(配当金総額2,586百万円)の中間配当を実施しています。当社の期末配当と合計した場合、年間配当金は1株あたり30円、配当金総額は5,525百万円、配当性向(連結)は26.9%、純資産配当率(連結)は1.0%に相当します。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,400	—	11,800	—	8,200	—	45.22
通期	167,200	$\Delta 8.9$	21,500	$\Delta 27.3$	15,000	$\Delta 26.7$	82.73

(注) 当社は2022年10月3日設立のため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、決算短信添付資料11ページ「3. (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期	184,771,461株	2022年3月期	一株
----------	--------------	----------	----

② 期末自己株式数

2023年3月期	1,071,607株	2022年3月期	一株
----------	------------	----------	----

③ 期中平均株式数

2023年3月期	184,540,066株	2022年3月期	一株
----------	--------------	----------	----

(注) 1. 当社は2022年10月3日設立のため、2022年3月期の計数は記載していません。

2. 普通株式の期中平均株式数は、当社が2022年10月3日に単独株式移転により設立された会社であるため、会社設立前の2022年4月1日から2022年10月2日までの期間については、株式会社中国銀行の期中平均株式数を用いて計算し、2022年10月3日から2023年3月31日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて計算しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(企業結合等関係) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
(参考) 中国銀行単体 財務諸表 .....	15

[別添]

○損益状況

○決算ハイライト

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は2022年10月3日に株式会社中国銀行の単独株式移転により設立されました。

当社グループは、お客さまの顕在ニーズ、潜在ニーズに応えながら地域社会やお客さまに必要とされ続ける企業グループを目指し、地域社会・お客さまと相互に発展するビジネスモデルを確立し、金融を中心とした総合サービス業へ進化することで、地域全体の付加価値を高めるとともに、ちゅうぎんグループ全体の企業価値向上を目指してまいります。

なお、当社グループの連結経営成績等につきましては、単独株式移転により完全子会社となった株式会社中国銀行の連結経営成績等を引き継いで作成しております。

#### [金融経済環境]

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における国内経済は、経済活動の再開が進み、堅調な雇用・所得環境の下、コロナ禍で先送りされた消費需要の回復が進みました。一方で、世界的なインフレや欧米各国の急激な政策金利の引上げ等により、世界経済の減速が見込まれており、国内経済への影響が懸念され、先行き不透明な状況にあります。

地元経済につきましては、海外経済や物価上昇の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の影響が和らいでおり、個人消費や設備投資、生産動向は改善しており、景気回復傾向にあります。今後は物価上昇や海外経済の減速の影響により、企業収益の悪化や個人消費への影響も懸念され、地元経済の状況に注視するとともに、地元企業への積極的な資金供給や経営課題解決への対応を通じて、地元経済の発展に貢献していく方針です。

#### [損益]

以上のような事業環境の中、当社グループでは2017年度からスタートしている期間10年の経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』のフレームワークに基づいて2020年度からスタートした中期経営計画『未来共創プラン ステージⅡ』で策定した各施策を着実に実施してまいりました。

当連結会計年度の業績は、連結経常収益は1,835億86百万円、連結経常費用は1,539億93百万円となりました。その結果、連結経常利益は295億93百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は204億77百万円となりました。

セグメントごとの業績は、銀行業では、経常収益は1,675億46百万円、経常利益は303億60百万円となりました。

リース業では、経常収益は174億61百万円、経常利益は36億40百万円となりました。

証券業では、経常収益は29億73百万円、経常利益は2億39百万円となりました。

その他では、経常収益は147億69百万円、経常利益は119億70百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における連結財政状態につきましては、総資産は9兆8,496億円となり、負債は9兆3,217億円となりました。また、純資産は5,278億円となりました。

主要勘定の期末残高につきましては、貸出金が5兆5,557億円、預金等(譲渡性預金を含む)が8兆535億円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### ○ 営業活動によるキャッシュ・フロー

貸出金の増加や借入金の減少などにより、4,034億円のマイナスとなりました。

#### ○ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却・償還が取得を上回ったことなどにより、1,642億円のプラスとなりました。

#### ○ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いや自己株式の取得などにより、78億円のマイナスとなりました。

上記の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、1兆5,063億円となりました。

#### (4) 今後の見通し

##### [業績見通し]

2024年3月期の当社グループの業績予想は、連結経常収益1,672億円、連結経常利益215億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円を見込んでおります。

##### [利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当]

当社は銀行持株会社としての公共性と健全性に鑑み、いかなる厳しい環境にも耐え得る財務体質を維持するため、内部留保の充実を図りつつ安定した配当を継続することを基本方針としております。

2023年3月期配当につきましては、2022年11月11日公表のとおり、当初予定配当額である期末14円から普通配当を2円増配し、期末16円にて定時株主総会に付議する予定です。この結果、単独株式移転により当社の完全子会社となった株式会社中国銀行にて実施しました中間配当金14円と合わせ、年間配当金は30円となる予定であります。

また、2023年5月12日取締役会で自社株式20億円の取得を決議しており、配当と自社株取得による総還元率は親会社株主に帰属する当期純利益の40%以上となる予定であります。

なお、2023年度の還元方針につきましては、現時点では、配当と自社株取得による総還元率を親会社株主に帰属する当期純利益の40%以上とすることといたします。この還元方針に基づき、2023年度の配当予想は、年間30円(中間15円)とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、わが国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準(日本基準)を適用しております。国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、内外の情勢等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部	
現金預け金	1,510,394
コールローン	178,907
買入金銭債権	22,329
商品有価証券	2,023
金銭の信託	24,600
有価証券	2,324,053
貸出金	5,555,795
外国為替	14,742
リース債権及びリース投資資産	27,010
その他資産	158,076
有形固定資産	35,631
建物	10,043
土地	18,827
建設仮勘定	62
リース資産	1,595
その他の有形固定資産	5,101
無形固定資産	1,712
ソフトウェア	1,251
ソフトウェア仮勘定	367
その他の無形固定資産	93
繰延税金資産	17,594
支払承諾見返	31,110
貸倒引当金	△54,302
資産の部合計	9,849,678

(単位：百万円)

当連結会計年度  
(2023年3月31日)

負債の部	
預金	7,898,033
譲渡性預金	155,489
コールマネー	179,987
売現先勘定	93,913
債券貸借取引受入担保金	423,430
コマーシャル・ペーパー	46,530
借入金	320,843
外国為替	492
社債	10,000
信託勘定借	8,496
その他負債	147,572
賞与引当金	1,547
役員賞与引当金	25
退職給付に係る負債	3,466
役員退職慰労引当金	49
睡眠預金払戻損失引当金	250
ポイント引当金	114
特別法上の引当金	7
繰延税金負債	423
支払承諾	31,110
負債の部合計	9,321,784
純資産の部	
資本金	16,000
資本剰余金	7,302
利益剰余金	479,223
自己株式	△1,000
株主資本合計	501,526
その他有価証券評価差額金	34,234
繰延ヘッジ損益	△3,320
退職給付に係る調整累計額	△4,818
その他の包括利益累計額合計	26,096
新株予約権	272
純資産の部合計	527,894
負債及び純資産の部合計	9,849,678

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
経常収益	183,586
資金運用収益	93,157
貸出金利息	60,294
有価証券利息配当金	29,653
コールローン利息	1,537
預け金利息	1,387
その他の受入利息	283
信託報酬	0
役務取引等収益	20,545
その他業務収益	47,440
その他経常収益	22,442
償却債権取立益	30
その他の経常収益	22,412
経常費用	153,993
資金調達費用	28,134
預金利息	4,222
譲渡性預金利息	22
コールマネー利息	2,485
売現先利息	2,135
債券貸借取引支払利息	439
コマーシャル・ペーパー利息	1,805
借用金利息	2,037
社債利息	78
その他の支払利息	14,906
役務取引等費用	3,427
その他業務費用	56,333
営業経費	55,662
その他経常費用	10,435
貸倒引当金繰入額	5,717
その他の経常費用	4,718
経常利益	29,593
特別利益	89
固定資産処分益	89
特別損失	179
固定資産処分損	123
減損損失	55
税金等調整前当期純利益	29,503
法人税、住民税及び事業税	9,705
法人税等調整額	△679
法人税等合計	9,025
当期純利益	20,477
非支配株主に帰属する当期純利益	-
親会社株主に帰属する当期純利益	20,477

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)	
当連結会計年度	
(自 2022年4月1日	
至 2023年3月31日)	
当期純利益	20,477
その他の包括利益	△37,443
その他有価証券評価差額金	△33,373
繰延ヘッジ損益	△2,713
退職給付に係る調整額	△1,356
包括利益	△16,966
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△16,966
非支配株主に係る包括利益	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,149	8,153	476,938	△11,623	488,618
当期変動額					
株式移転による変動	850	△850			-
剰余金の配当			△5,651		△5,651
親会社株主に帰属する 当期純利益			20,477		20,477
自己株式の取得				△1,941	△1,941
自己株式の処分		1		21	23
自己株式の消却		△1	△12,540	12,542	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	850	△850	2,285	10,622	12,908
当期末残高	16,000	7,302	479,223	△1,000	501,526

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	67,608	△606	△3,461	63,540	256	552,414
当期変動額						
株式移転による変動						-
剰余金の配当						△5,651
親会社株主に帰属する 当期純利益						20,477
自己株式の取得						△1,941
自己株式の処分						23
自己株式の消却						-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△33,373	△2,713	△1,356	△37,443	15	△37,428
当期変動額合計	△33,373	△2,713	△1,356	△37,443	15	△24,520
当期末残高	34,234	△3,320	△4,818	26,096	272	527,894

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当連結会計年度	
(自 2022年4月1日	
至 2023年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	29,503
減価償却費	3,177
減損損失	55
株式報酬費用	39
貸倒引当金繰入額	5,717
賞与引当金の増減額 (△は減少)	67
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△290
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	190
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6
資金運用収益	△93,157
資金調達費用	28,134
有価証券関係損益 (△)	1,745
金銭の信託の運用損益 (△は運用益)	297
為替差損益 (△は益)	△36,402
固定資産処分損益 (△は益)	1
商品有価証券の純増 (△) 減	811
その他の資産の増減額 (△は増加)	△14,065
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△1,606
その他の負債の増減額 (△は減少)	21,098
貸出金の純増 (△) 減	△300,191
預金の純増減 (△)	247,526
譲渡性預金の純増減 (△)	△55,678
借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△)	△353,291
コールローン等の純増 (△) 減	265,676
売現先勘定の純増減 (△)	△97,093
コールマネー等の純増減 (△)	69,278
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△164,925
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	△256
コマーシャル・ペーパーの純増減 (△)	△8,486
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△8,459
外国為替 (負債) の純増減 (△)	△133
信託勘定借の純増減 (△)	1,560
資金運用による収入	91,567
資金調達による支出	△28,113
小計	△395,694
法人税等の支払額	△7,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	△403,482

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△1,390,078
有価証券の売却による収入	1,273,089
有価証券の償還による収入	280,810
金銭の信託の増加による支出	△7,323
金銭の信託の減少による収入	10,025
有形固定資産の取得による支出	△2,143
有形固定資産の売却による収入	562
無形固定資産の取得による支出	△642
投資活動によるキャッシュ・フロー	164,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△5,651
自己株式の取得による支出	△1,941
リース債務の返済による支出	△251
自己株式の売却による収入	0
ストックオプションの行使による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247,028
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,389
現金及び現金同等物の期末残高	1,506,361

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これにより、投資信託財産が不動産である投資信託について、市場における取引価格が存在せず、解約等に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がある場合、従来は取得原価をもって貸借対照表価額としておりましたが、入手し得る直近の基準価額を時価とみなし、時価評価する方法へと見直ししております。

なお、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。各事業セグメントは、グループ各社において異なるサービスを提供していることから、連結会社ごとに管理を行っております。

従って、当社グループは、各社単独のサービス別のセグメントから構成されており、主として「銀行業」、「リース業」、「証券業」の3つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務・貸出業務を主として多岐にわたる金融サービスを行っております。「リース業」は、物品のリース・割賦を行っており、「証券業」は、金融商品仲介を行っております。

## 2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	164,419	14,019	2,903	181,343	2,242	183,586	—	183,586
セグメント間の 内部経常収益	3,126	3,441	69	6,637	12,526	19,164	△19,164	—
計	167,546	17,461	2,973	187,981	14,769	202,750	△19,164	183,586
セグメント利益	30,360	3,640	239	34,241	11,970	46,211	△16,618	29,593
セグメント資産	9,802,088	45,629	9,581	9,857,299	493,865	10,351,164	△501,485	9,849,678
セグメント負債	9,314,344	24,561	4,821	9,343,727	5,515	9,349,243	△27,459	9,321,784
その他の項目								
減価償却費	2,588	496	7	3,092	5	3,098	78	3,177
資金運用収益	93,465	148	1	93,616	9,149	102,765	△9,608	93,157
資金調達費用	28,103	102	1	28,206	0	28,207	△73	28,134

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、金融商品取引法上の投資運用業・助言業等を含んでおります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. 2022年4月1日付、5月30日付、9月1日付、10月3日付でそれぞれ新規設立した、株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズはファンド運営業、株式会社ちゅうぎんヒューマンイノベーションズは人材紹介業、株式会社Cキューブ・コンサルティングはコンサルティング業、株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループは経営管理業として、「その他」に含めております。

## 4 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、当社設立及びグループ内組織再編に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「その他」に含めておりました株式会社CBS、中銀事務センター株式会社、中銀保証株式会社の事業セグメントを「銀行業」に変更しております。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,872円19銭
1株当たり当期純利益金額	110円96銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	110円80銭

## (注) 算定上の基礎

## (1) 1株当たり純資産額

		当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円	527,894
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	272
うち新株予約権	百万円	272
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	527,622
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	千株	183,699

## (2) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額

		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	20,477
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	20,477
普通株式の期中平均株式数	千株	184,540
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	—
普通株式増加数	千株	265
うち新株予約権	千株	265
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概 要		—

- (3) 普通株式の期中平均株式数は、当社が2022年10月3日に単独株式移転により設立された会社であるため、会社設立前の2022年4月1日から2022年10月2日までの期間については、株式会社中国銀行の期中平均株式数を用いて計算し、2022年10月3日から2023年3月31日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて計算しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

株式移転完全子会社 株式会社中国銀行(銀行業)

(2) 企業結合日

2022年10月3日

(3) 企業結合の法的形式

単独株式移転による持株会社設立

(4) 結合後企業の名称

株式移転設立完全親会社 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、金融を中心とした総合サービス業へ進化することで、地域社会の持続的な発展への貢献とちゅうぎんグループ全体の企業価値向上を目指すことを目的に設立されました。

なお、当社は、当社の完全子会社である株式会社中国銀行の保有する、中銀リース株式会社、中銀証券株式会社、中銀カード株式会社、中銀アセットマネジメント株式会社、株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ、株式会社ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ、株式会社Cキューブ・コンサルティングの7社並びに当社の非連結子会社である株式会社せとのわ1社の計8社の全株式を、株式会社中国銀行から現物配当を受ける方法を用いて2022年10月3日付で取得しております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2022年12月23日開催の取締役会において、当社子会社の株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズが100%出資する子会社の設立を決議し、2023年4月3日付で設立いたしました。

1. 設立の目的

当社グループは業務軸を拡大し、地域の脱炭素化の推進(太陽光PPA事業等)を通じたサステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)の実現により、お客さまの経営課題の解決や本業支援に積極的に取り組むことを目的に、当該子会社を設立しました。

2. 子会社の概要

(1)会社名 : 株式会社ちゅうぎんエナジー

(2)本店所在地 : 岡山市北区丸の内一丁目15番20号(ちゅうぎん本店ビル9階)

(3)事業内容 : 太陽光PPA事業を中心とした再エネ発電事業

蓄電池・EV等を活用した環境エネルギー事業

上記に関する投融資事業、脱炭素コンサルティング・カーボンオフセット事業

(4)設立年月日 : 2023年4月3日

(5)資本金 : 100百万円

(6)株主 : 株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ(100%子会社)

(自己株式の取得)

当社では、資本効率の向上を通じて株主の皆さまへの利益還元を図るため、2023年5月12日開催の取締役会において、普通株式上限2,400千株、取得価額の総額2,000百万円の市場買付による自己株式の取得を行うことを決議いたしました。

(参考) 中国銀行単体 財務諸表

(1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,757,035	1,510,289
現金	44,531	52,094
預け金	1,712,504	1,458,195
コールローン	446,381	178,907
買入金銭債権	18,681	19,602
商品有価証券	2,834	2,023
商品国債	324	256
商品地方債	2,510	1,766
金銭の信託	23,000	20,000
有価証券	2,509,806	2,319,209
国債	694,244	564,409
地方債	754,802	766,983
社債	313,171	324,116
株式	132,595	113,651
その他の証券	614,993	550,048
貸出金	5,269,043	5,566,442
割引手形	15,479	14,800
手形貸付	81,708	83,833
証書貸付	4,633,418	4,860,033
当座貸越	538,437	607,774
外国為替	6,282	14,742
外国他店預け	5,009	13,241
取立外国為替	1,273	1,501
その他資産	122,829	137,820
前払費用	290	222
未収収益	7,822	11,431
先物取引差入証拠金	1,387	1,902
先物取引差金勘定	-	39
金融派生商品	16,350	21,886
金融商品等差入担保金	40,716	46,309
その他の資産	56,261	56,029
有形固定資産	34,722	33,427
建物	10,692	10,025
土地	18,915	18,847
リース資産	1,826	1,590
建設仮勘定	50	62
その他の有形固定資産	3,237	2,901
無形固定資産	1,386	1,568
ソフトウェア	938	1,175
ソフトウェア仮勘定	359	304
その他の無形固定資産	88	88
前払年金費用	3,550	4,428
繰延税金資産	-	14,390
支払承諾見返	30,918	31,110
貸倒引当金	△48,486	△50,496
<b>資産の部合計</b>	<b>10,177,987</b>	<b>9,803,468</b>

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
預金	7,661,625	7,915,268
当座預金	372,237	384,021
普通預金	5,094,132	5,339,346
貯蓄預金	112,007	108,272
通知預金	27,268	32,408
定期預金	1,911,783	1,857,654
その他の預金	144,196	193,564
譲渡性預金	222,167	163,489
コールマネー	110,709	179,987
売現先勘定	191,006	93,913
債券貸借取引受入担保金	588,355	423,430
コマーシャル・ペーパー	55,017	46,530
借入金	663,152	312,605
借入金	663,152	312,605
外国為替	625	492
売渡外国為替	487	339
未払外国為替	137	152
社債	10,000	10,000
信託勘定借	6,935	8,496
その他負債	104,047	127,857
未払法人税等	1,870	4,169
未払費用	2,026	6,872
前受収益	1,643	1,652
先物取引差金勘定	6	-
金融派生商品	57,950	72,582
リース債務	1,570	1,367
金融商品等受入担保金	1,299	2,490
その他の負債	37,680	38,722
賞与引当金	1,353	1,356
退職給付引当金	100	680
睡眠預金払戻損失引当金	60	250
ポイント引当金	75	79
繰延税金負債	2,149	-
支払承諾	30,918	31,110
負債の部合計	9,648,299	9,315,547

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
資本金	15,149	15,149
資本剰余金	6,286	6,286
資本準備金	6,286	6,286
利益剰余金	454,193	437,260
利益準備金	15,149	15,149
その他利益剰余金	439,043	422,110
固定資産圧縮積立金	535	535
別途積立金	403,600	383,600
繰越利益剰余金	34,908	37,975
自己株式	△11,623	-
株主資本合計	464,005	458,695
その他有価証券評価差額金	66,033	32,545
繰延ヘッジ損益	△606	△3,320
評価・換算差額等合計	65,426	29,225
新株予約権	256	-
純資産の部合計	529,688	487,921
負債及び純資産の部合計	10,177,987	9,803,468

(2) 【損益計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
経常収益	110,337	164,467
資金運用収益	66,830	93,636
貸出金利息	45,162	60,334
有価証券利息配当金	19,952	30,125
コールローン利息	126	1,537
預け金利息	1,437	1,387
その他の受入利息	151	251
信託報酬	0	0
役務取引等収益	20,644	21,721
受入為替手数料	5,249	4,865
その他の役務収益	15,394	16,855
その他業務収益	11,081	26,574
外国為替売買益	768	394
国債等債券売却益	9,400	23,487
国債等債券償還益	150	92
金融派生商品収益	743	2,537
その他の業務収益	19	63
その他経常収益	11,779	22,533
償却債権取立益	42	30
株式等売却益	9,800	20,633
金銭の信託運用益	203	13
その他の経常収益	1,732	1,856
経常費用	86,928	136,953
資金調達費用	5,224	28,104
預金利息	659	4,222
譲渡性預金利息	25	23
コールマネー利息	△282	2,485
売現先利息	209	2,135
債券貸借取引支払利息	521	439
コマース・ペーパー利息	155	1,805
借入金利息	182	2,005
社債利息	78	78
金利スワップ支払利息	3,553	13,569
その他の支払利息	120	1,337
役務取引等費用	3,485	3,427
支払為替手数料	678	450
その他の役務費用	2,807	2,976
その他業務費用	12,508	43,436
商品有価証券売買損	8	79
国債等債券売却損	12,330	43,345
国債等債券償還損	37	-
国債等債券償却	132	12
その他の業務費用	-	0
営業経費	53,015	52,304

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
その他経常費用	12,693	9,679
貸倒引当金繰入額	7,381	5,095
株式等売却損	3,799	2,073
株式等償却	1	532
金銭の信託運用損	104	310
その他の経常費用	1,407	1,667
経常利益	23,408	27,513
特別利益	314	118
固定資産処分益	314	89
株式報酬受入益	-	29
特別損失	708	177
固定資産処分損	203	121
減損損失	505	55
税引前当期純利益	23,015	27,455
法人税、住民税及び事業税	6,155	8,661
法人税等調整額	△56	△599
法人税等合計	6,099	8,061
当期純利益	16,915	19,393

## <2022年度 損益状況>

ちゅうぎんフィナンシャルグループ損益状況  
中国銀行損益状況

## <2022年度 決算ハイライト>

決算概要

自己資本の状況

業績予想

株主還元方針

銀行単体の計数

- ・資金利益
- ・役務利益
- ・経費
- ・与信コストの推移・不良債権の状況
- ・主要勘定 ① – 預金・預り資産 –  
② – 貸出金 –  
③ – 有価証券 –



この挑戦が、未来となる。

**ちゅうぎんフィナンシャルグループ**

【ちゅうぎんフィナンシャルグループ連結】

(連結損益計算書ベース)

(百万円)

	No	2023年3月期			2022年3月期
			前年同期比	増減率	
経常収益	1	183,586	55,021	42.7%	128,565
連結粗利益 (3+4+5)	2	73,256	△10,483	△12.5%	83,739
資金利益	3	65,031	3,869	6.3%	61,162
役務取引等利益	4	17,118	1,354	8.5%	15,764
その他業務利益	5	△8,892	△15,704	-	6,812
経費 (△)	6	55,662	△447	△0.7%	56,109
貸倒償却引当費用 (△)	7	5,735	△2,773	△32.5%	8,508
個別貸倒引当金繰入額	8	5,013	2,130	73.8%	2,883
一般貸倒引当金繰入額	9	704	△4,592	△86.7%	5,296
債権売却損	10	17	△311	△94.8%	328
償却債権取立益	11	30	△12	△28.5%	42
株式関係損益	12	18,033	12,027	200.2%	6,006
その他の経常損益	13	△329	△962	-	633
<b>経常利益 (2-6-7+11+12+13)</b>	<b>14</b>	<b>29,593</b>	<b>3,789</b>	<b>14.6%</b>	<b>25,804</b>
特別利益	15	89	△225	△71.6%	314
特別損失 (△)	16	179	△530	△74.7%	709
うち固定資産減損損失	17	55	△450	△89.1%	505
税金等調整前当期純利益 (14+15-16)	18	29,503	4,094	16.1%	25,409
法人税、住民税及び事業税 (△)	19	9,705	2,565	35.9%	7,140
法人税等調整額 (△)	20	△679	△573	-	△106
当期純利益 (18-19-20)	21	20,477	2,103	11.4%	18,374
非支配株主に帰属する当期純利益	22	-	-	-	-
<b>親会社株主に帰属する当期純利益 (21-22)</b>	<b>23</b>	<b>20,477</b>	<b>2,103</b>	<b>11.4%</b>	<b>18,374</b>

当期純利益 (23)	24	20,477	2,103	11.4%	18,374
その他の包括利益	25	△37,443	△15,989	-	△21,454
その他有価証券評価差額金	26	△33,373	△4,408	-	△28,965
繰延ヘッジ損益	27	△2,713	△7,426	-	4,713
退職給付に係る調整額	28	△1,356	△4,153	-	2,797
包括利益 (24+25)	29	△16,966	△13,887	-	△3,079
親会社株主に係る包括利益	30	△16,966	△13,887	-	△3,079
非支配株主に係る包括利益	31	-	-	-	-

(連結対象会社数)

	2023年3月期	2022年3月期	対比
連結子会社数	11	7	4
持分法適用会社数	0	0	-

【中国銀行単体】

(百万円)

	No	2023年3月期			2022年3月期
			前年同期比	増減率	
経常収益	1	164,467	54,130	49.0%	110,337
業務粗利益 (4+5+6)	2	66,971	△10,374	△13.4%	77,345
コア業務粗利益 (除く債券関係損益) (2-7)	3	86,749	6,454	8.0%	80,295
資金利益	4	65,539	3,926	6.3%	61,613
役務取引等利益	5	18,294	1,135	6.6%	17,159
その他業務利益	6	△16,862	△15,435	-	△1,427
債券関係損益	7	△19,778	△16,829	-	△2,949
債券関係損益除くその他業務利益	8	2,916	1,394	91.5%	1,522
国内業務粗利益 (除く債券関係損益)	9	76,592	5,033	7.0%	71,559
資金利益	10	72,655	5,469	8.1%	67,186
役務取引等利益	11	54,853	4,492	8.9%	50,361
その他業務利益 (うち債券関係損益)	12	17,781	989	5.8%	16,792
国内業務粗利益 (除く債券関係損益)	13	3,957	△448	△10.1%	4,405
資金利益	14	3,937	△435	△9.9%	4,372
国際業務粗利益 (除く債券関係損益)	15	△9,621	△15,407	-	5,786
資金利益	16	14,094	985	7.5%	13,109
役務取引等利益	17	10,686	△565	△5.0%	11,251
その他業務利益 (うち債券関係損益)	18	512	145	39.5%	367
国際業務粗利益 (除く債券関係損益)	19	△20,820	△14,988	-	△5,832
資金利益	20	△23,715	△16,393	-	△7,322
経費 (除く臨時処理分) (△)	21	51,316	△670	△1.2%	51,986
人件費	22	27,843	△194	△0.6%	28,037
物件費	23	20,358	△751	△3.5%	21,109
税金	24	3,114	275	9.6%	2,839
実質業務純益 (一般貸引繰入前) (2-21)	25	15,655	△9,704	△38.2%	25,359
コア業務純益 (除く債券関係損益) (3-21)	26	35,433	7,124	25.1%	28,309
コア業務純益 (除く投信解約損益)	27	31,907	3,598	12.7%	28,309
①一般貸倒引当金繰入 (△)	28	513	△4,534	△89.8%	5,047
業務純益 (25-28)	29	15,142	△5,170	△25.4%	20,312
うち債券関係損益	30	△19,778	△16,829	-	△2,949
臨時損益 (36+37+41-32)	31	12,371	9,275	299.5%	3,096
②不良債権処理額 (△)	32	4,596	1,940	73.0%	2,656
個別貸倒引当金繰入額	33	4,582	2,248	96.3%	2,334
債権売却損	34	13	△309	△95.9%	322
(貸倒償却引当費用①+②) (△)	35	5,109	△2,594	△33.6%	7,703
償却債権取立益	36	30	△12	△28.5%	42
株式関係損益	37	18,027	12,027	200.4%	6,000
株式等売却益	38	20,633	10,833	110.5%	9,800
株式等売却損 (△)	39	2,073	△1,726	△45.4%	3,799
株式等償却 (△)	40	532	531	53,100.0%	1
その他臨時損益	41	△1,089	△800	-	△289
経常利益 (29+31)	42	27,513	4,105	17.5%	23,408
特別利益	43	118	△196	△62.4%	314
特別損失 (△)	44	177	△531	△75.0%	708
うち固定資産減損損失	45	55	△450	△89.1%	505
税引前当期純利益 (42+43-44)	46	27,455	4,440	19.2%	23,015
法人税、住民税及び事業税 (△)	47	8,661	2,506	40.7%	6,155
法人税等調整額 (△)	48	△599	△543	-	△56
当期純利益 (46-47-48)	49	19,393	2,478	14.6%	16,915
与信コスト (△は戻入) (28+32-36)	50	5,079	△2,581	△33.6%	7,660

# 2022年度 決算ハイライト

---



この挑戦が、未来となる。

**ちゅうぎんフィナンシャルグループ**

## ちゅうぎんフィナンシャルグループ 連結業績推移

(億円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
					前年比	公表比※
連結粗利益	802	819	837	732	▲ 105	–
(債券関係損益除く)	807	824	866	929	63	–
資金利益	579	585	611	650	39	–
役務取引等利益	146	143	157	171	14	–
その他業務利益	76	90	68	▲ 88	▲ 156	–
うち、債券関係損益	▲ 5	▲ 5	▲ 29	▲ 197	▲ 168	–
経費 (▲)	582	572	561	556	▲ 5	–
与信費用 (▲)	62	87	84	57	▲ 27	–
株式関係損益	0	55	60	180	120	–
その他	15	▲ 2	6	▲ 3	▲ 9	–
経常利益	174	212	258	295	37	24
特別損益	▲ 6	▲ 3	▲ 3	▲ 0	3	–
親会社株主に帰属する当期純利益	119	144	183	204	21	18

※2022.11.11 公表利益

### 親会社株主に帰属する当期純利益は204億円（3期連続の増益）

- ・グループ一体での営業活動を通じて、本業である資金利益や役務利益が好調に推移。
- ・有価証券運用では、国内外の金利上昇に対応してポートフォリオの入替を前倒しで実施。

中国銀行 単体 (億円)	2022年度		
		前年比	公表比※
コア業務粗利益	867	65	33
資金利益	655	39	25
役務利益	182	11	5
その他業務利益	29	14	2
経費(▲)	513	▲ 6	2
OHR	59.1%	▲ 5.5 pt	▲ 2.1 pt
コア業務純益	354	71	32
除く投信解約損益	319	36	16
与信費用 (▲)	50	▲ 26	▲ 8
有価証券関係損益	▲ 17	▲ 47	▲ 7
その他	▲ 10	▲ 8	▲ 5
経常利益	275	41	26
当期純利益	193	24	20

※2022.11.11 公表利益

## コア業務純益

- ・資金利益は貸出金や有価証券の利息が堅調に増加。  
※有価証券ポートフォリオ改善のため、投信解約益 35億円を計上
- ・コンサルティング営業の強化により、法人関連を中心に役務利益やデリバティブ利益（その他業務利益）が大きく増加。
- ・従業員や各種施策への投資を拡大させつつ、経費全体をコントロール。

以上より、コア業務純益は**前年比+71億円**  
(投信解約益除くベース **前年比+36億円**)

## 与信費用

- ・これまでの積極的な金融支援やお客さまの経営改善サポートを通じて、与信費用は低位推移。

## 有価証券関係損益

- ・外貨債券を中心にポートフォリオ改善を実施。  
(外債デュレーションは4.2年→1.8年に短縮)

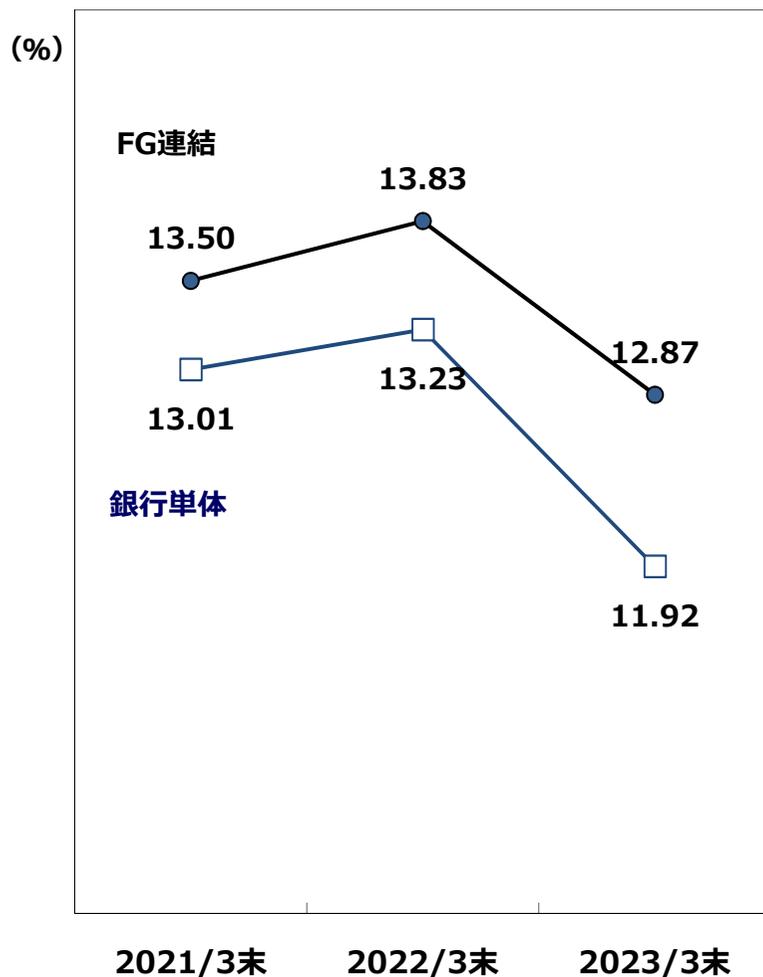
# 決算概要 – グループ会社の状況（銀行除く） –

グループ会社	(億円)	経常利益	前年比	純利益	前年比
※ リース		4	2	3	1
※ カード		4	0.6	3	0.4
ヒューマンイノベーションズ（職業紹介）		0.1	—	0.1	—
キャピタルパートナーズ（ファンド運営・管理）		0.2	—	0.1	—
Cキューブ・コンサルティング（DX・SX等コンサル）		▲2	—	▲2	—
エナジー（再エネ発電など脱炭素支援）'23/4開始		—	—	—	—
証券		2	▲3	1	▲2
※ アセットマネジメント		1	▲0.3	1	▲0.2
事務センター		0.2	▲0	0.1	▲0
CBS（銀行関連事務受託）		1	0.2	0.9	0.1
※ 保証		15	▲0.4	10	▲0.4

※の4社（リース・カード・アセットマネジメント・保証）は持株会社体制移行に伴うグループ会社間の株式売却益を控除した計数 4

# 自己資本の状況

【自己資本比率の推移】



【自己資本（FG連結）の状況】

(億円)	2022/3期	2023/3期	対比
総自己資本	5,572	5,307	▲265
うち、普通株式等Tier1	5,467	5,214	▲253
うち、有価証券評価差額金等	635	260	▲375
リスク・アセット等	40,286	41,231	945
信用リスク	38,728	39,598	870
オペレーショナル・リスク	1,558	1,632	74

【その他のバーゼル規制】

	2022/3期	2023/3期	<規制水準>
連結 レバレッジ比率	6.25%	6.03%	3%以上
連結 流動性カバレッジ比率(LCR)	251.5%	209.0%	100%以上

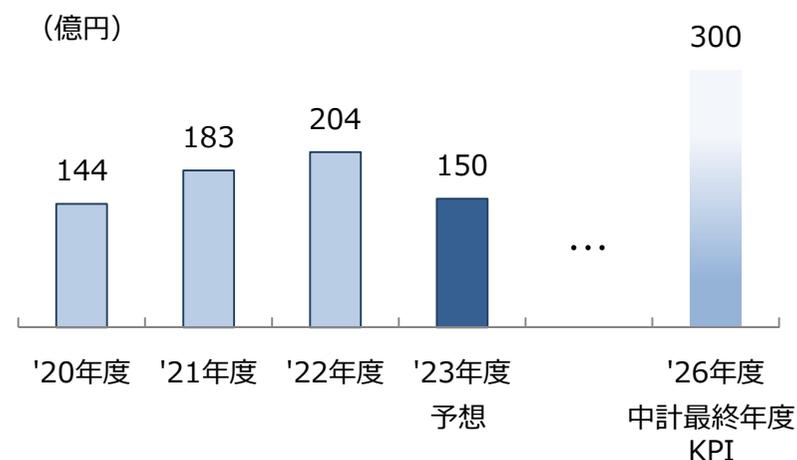
- ・有価証券評価差額金の減少などにより総自己資本は減少。
- ・地元事業性資金や個人ローン等の貸出金増加によりリスクアセットは増加し、総自己資本比率は低下。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ連結 (億円)	2022年度	2023年度	
	実績	予想	増減
連結経常利益	295	215	▲ 80
親会社株主に帰属する当期純利益	204	150	▲ 54

<参考：中国銀行単体>

コア業務粗利益	867	774	▲ 93
資金利益	655	580	▲ 75
役務利益	182	180	▲ 2
その他業務利益	29	13	▲ 16
経費 (▲)	513	542	29
コア業務純益	354	232	▲ 122
除く投信解約損益	319	232	▲ 87
うち 与信費用 (▲)	50	69	19
うち 有価証券関係損益	▲ 17	23	40
経常利益	275	184	▲ 91
当期純利益	193	128	▲ 65

## 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



## 2023年度の主な減益要因

### <資金利益>

- ・海外金利の高止まりを想定した調達コストの増加、前年度('22年度)に計上した投信解約益35億円の剥落

### <経費・与信費用>

- ・イノベーション関連の戦略投資や個人ローン、預り資産部門などへの施策投資
- ・貸出金の増強に伴う一般貸倒引当金の計上 (残高要因)

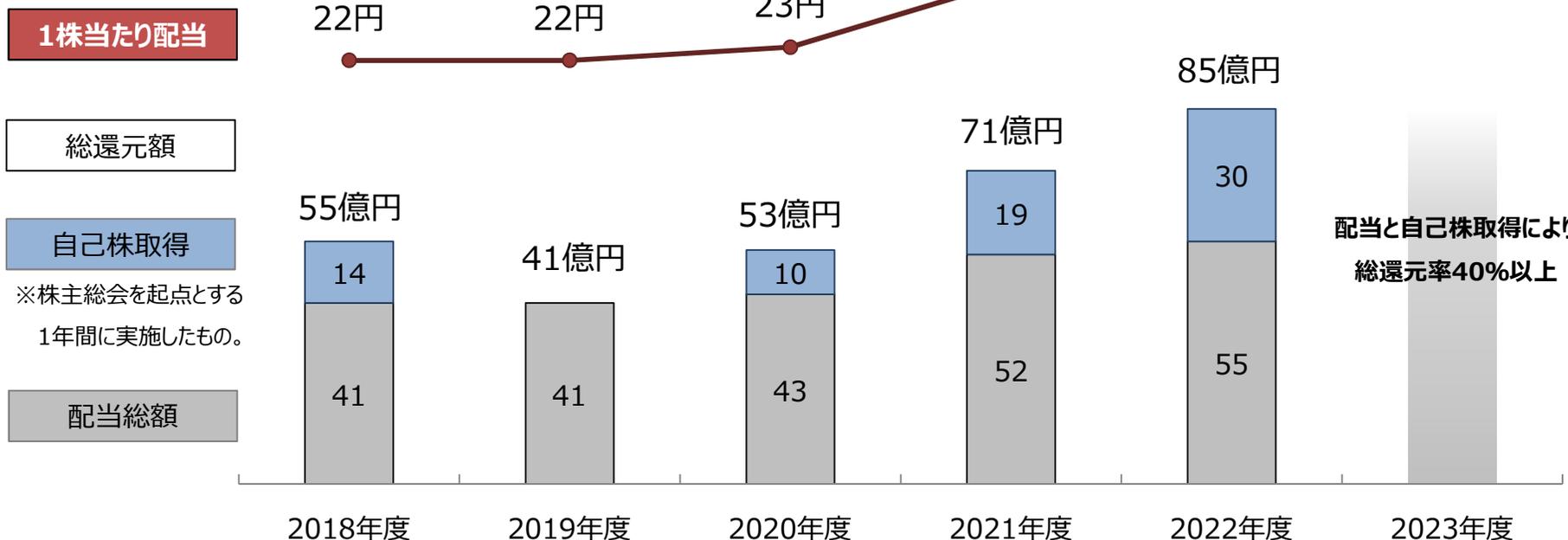
・'23年度は減益を見込むものの、新規事業などをはじめとした成長投資や新設会社含めたグループ一体での更なるシナジー効果の発揮により、中期経営計画および長期経営計画 ('17年度～'26年度) で掲げた利益目標の達成を目指す。

## 【2023年度還元方針】 配当と自己株取得による総還元率40%以上（連結ベース）

－ 安定的・継続的な配当の拡大と機動的な自社株取得の実施による株主還元の充実－



※'19年度まで：中国銀行単体利益ベース  
'20年度以降：中国銀行連結利益ベース  
'22年度以降：ちゅうぎんFG連結利益ベース



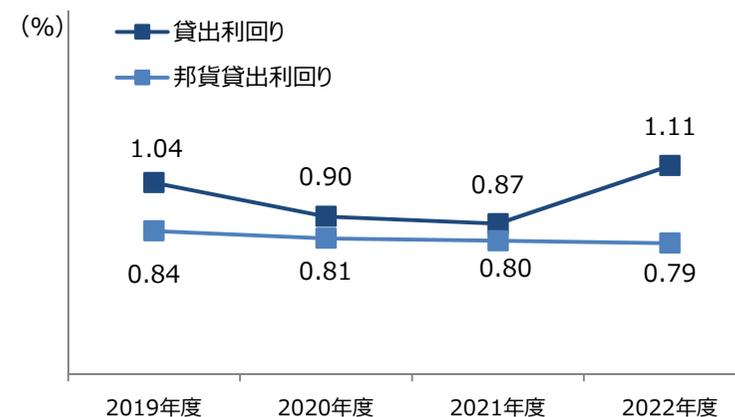
- ・2022年度は、配当と自己株取得による総還元率41.6%。（自己株取得30億円のうち20億円は'23/7より取得予定）
- ・2023年度より、総還元率の目安を35%以上 → **40%**以上に引き上げ。株主還元の一層の強化を図る。

## 銀行単体の計数

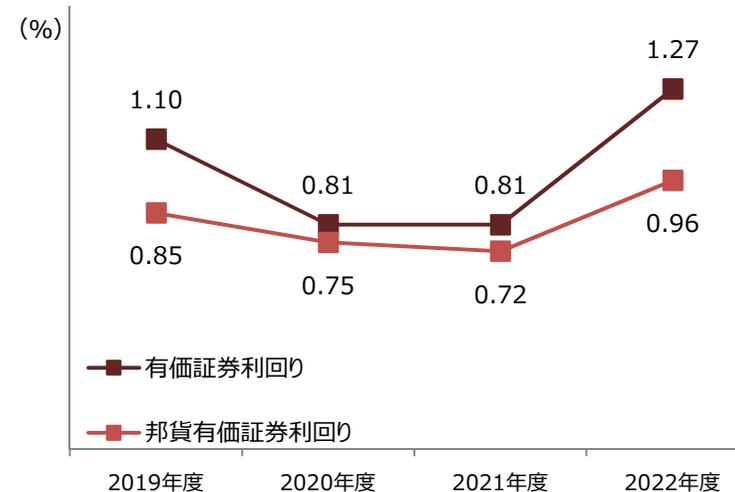
# 資金利益

【資金利益の内訳】 (億円)	2021年度	2022年度	前年比
	① 資金利益	616	
邦貨資金利益	515	568	53
うち、貸出金利息	378	382	4
うち、有価証券利息	146	195	49
外貨資金利益	100	87	▲ 13
運用収益	128	345	217
調達コスト (▲)	28	258	230
その他業務利益	15	29	14
② うち、外貨調達コスト(▲)	▲ 0	1	1
(参考)			
①+② 資金利益 (実質)	616	654	38

## 【貸出利回り】



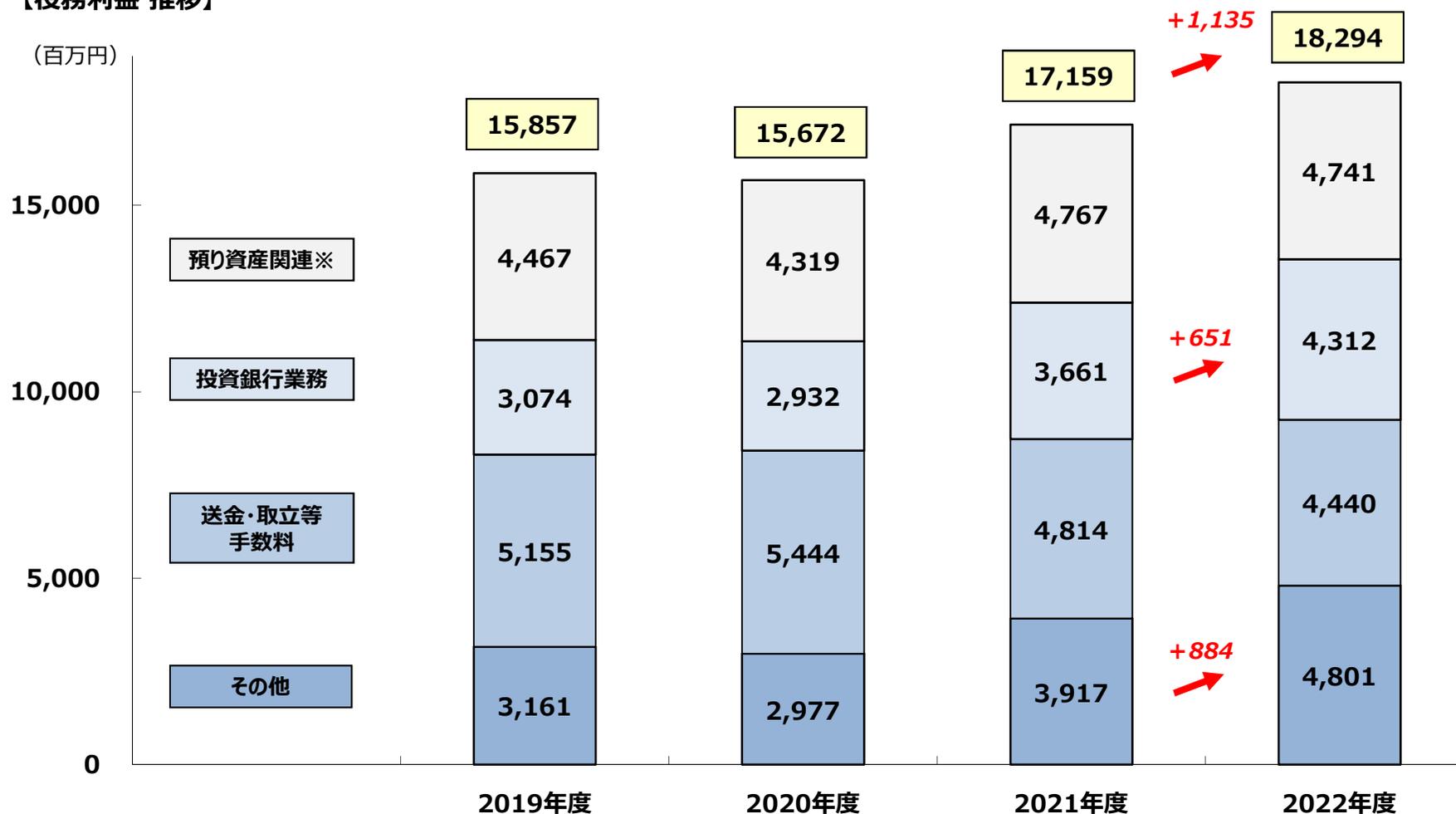
## 【有価証券利回り】



- ・邦貨資金利益 貸出金は堅調な平残の増加を反映して前年比+4億円。有価証券は投資信託の解約益（35億円）や債券利回りの上昇などにより前年比+49億円。
- ・外貨資金利益 海外金利の急騰を受けた調達コストの上昇により前年比▲13億円。

# 役務利益

## 【役務利益 推移】

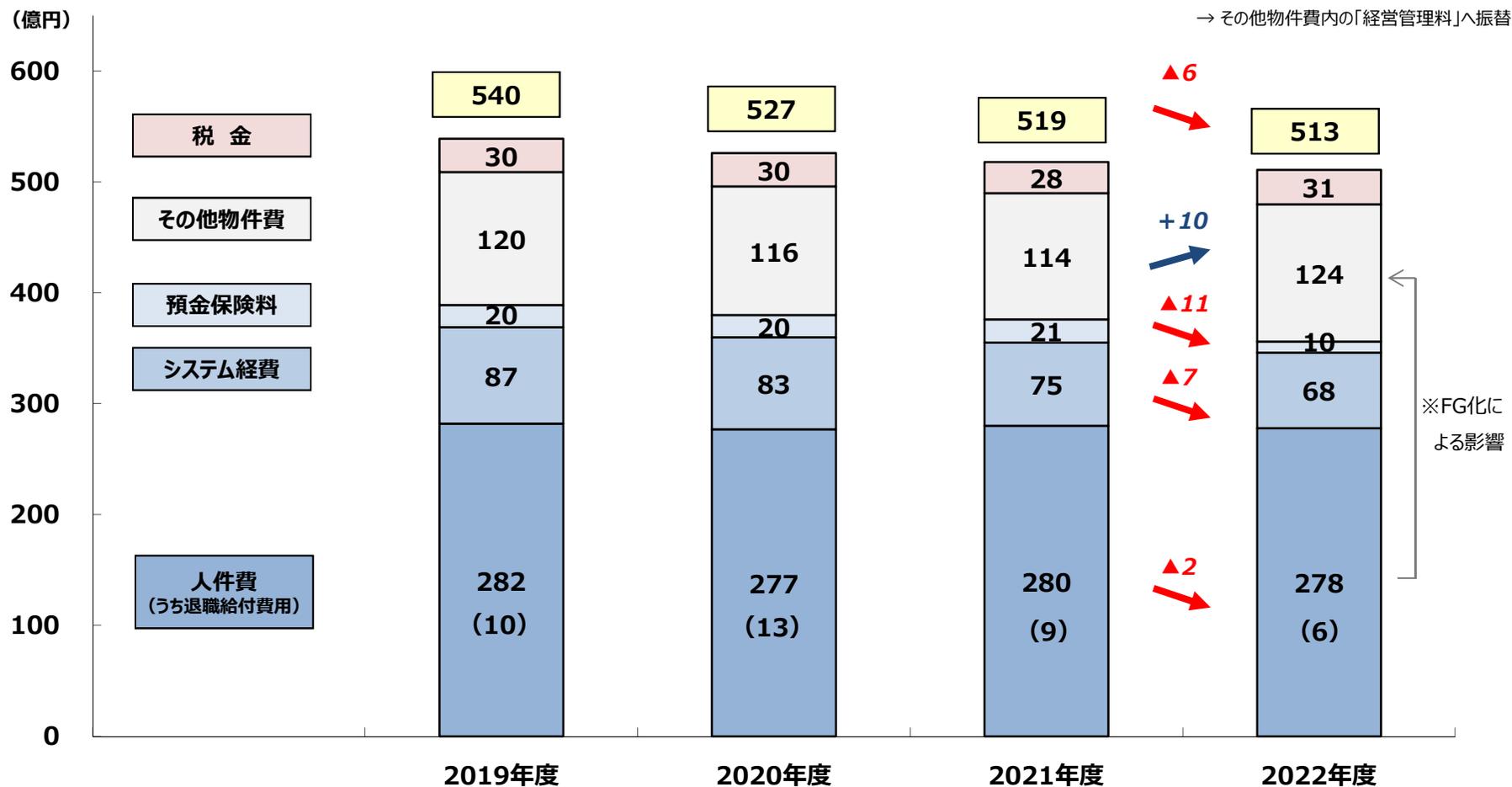


※：預り4商品（投信・保険・公共債・金融商品仲介）+ 相続関連業務

- ・シ・ローンやM&A、ビジネスマッチングなど各種コンサルティング営業の成果により投資銀行業務は前年比+651百万円。
- ・「その他」項目は住宅ローン取扱手数料の増加等が寄与したことから前年比+884百万円。

# 経費

## 【経費 推移】

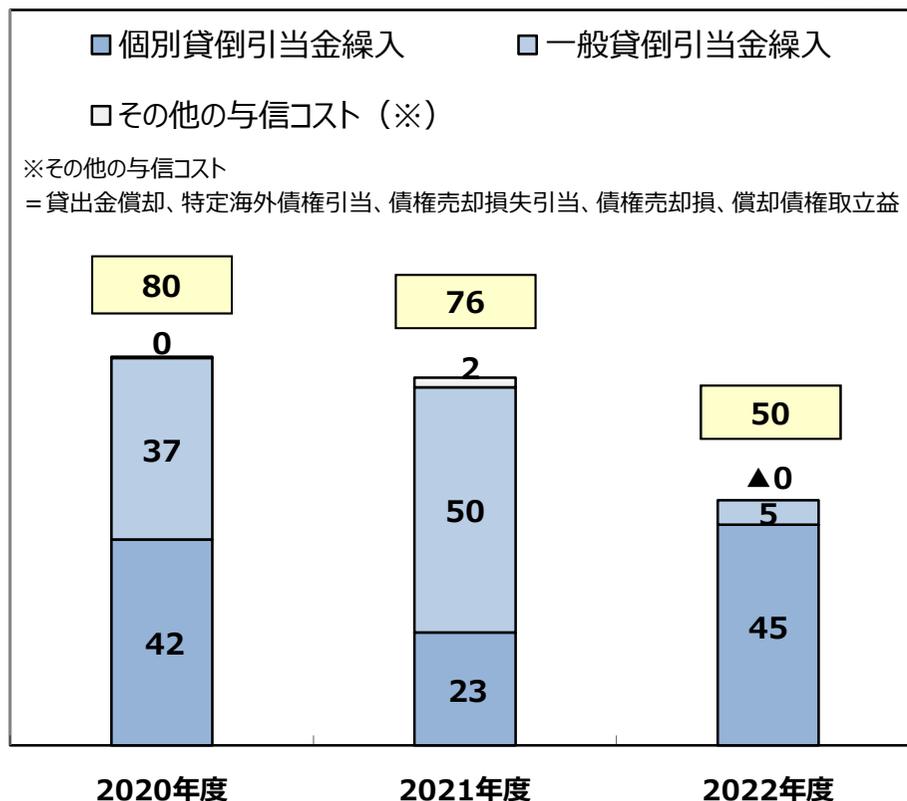


・2022年度は、賞与増額や人的資本投資（リスクリング等を目的とした手当支給）、イノベーション関連の戦略支出を実施しつつも、預金保険料・システム経費の減少により、経費全体では前年比6億円の減少。

# 与信コストの推移・不良債権の状況

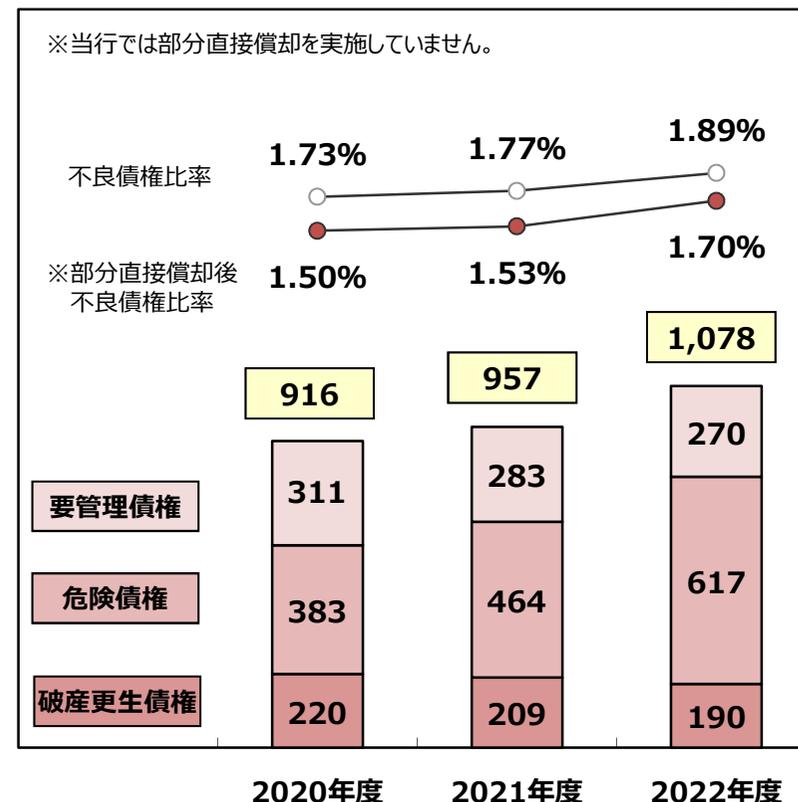
## 【与信コスト 推移】

(億円)



## 【不良債権の状況 (金融再生法開示債権)】

(億円)



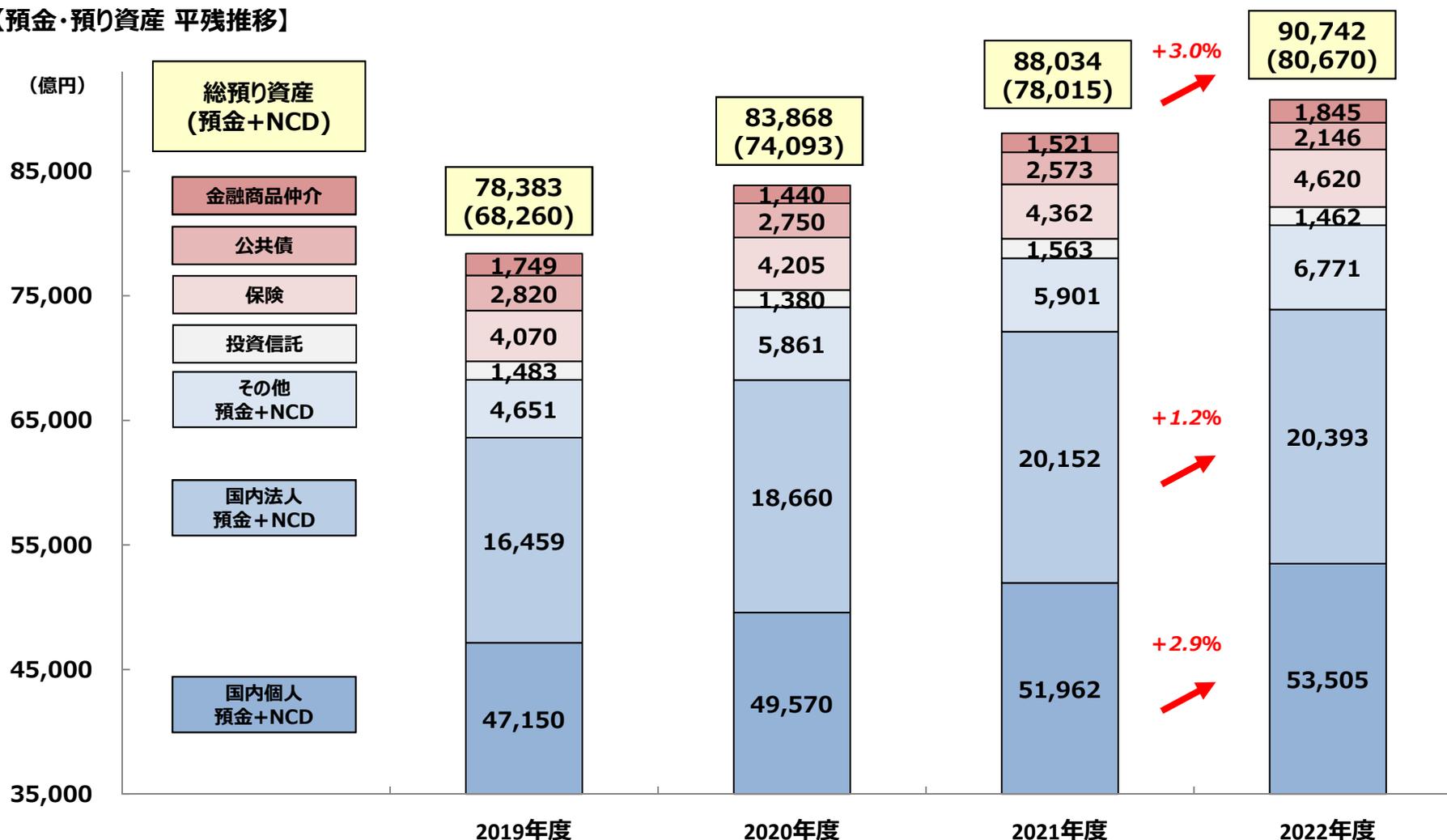
### ■一般貸倒引当金の算定方法

- ・3年間を1算定期間とし、各貸倒実績率から予想損失率を算出。(各算定期間は半年ずらし)
- ・予想損失率は、「直近3算定期間平均」、「直近5算定期間平均」、「2008/9期を期首とした長期平均」のいずれか高いものを使用。(2022/9期より変更)
- ・「正常先」・「要注意先 I」債権については、貸出債権の平均残存年数を考慮した調整を行っている。

- ・与信コストは50億円（前年比▲26億円）と低位に推移。
- ・不良債権比率は引続き低水準（1%台）を維持。

# 主要勘定① - 預金・預り資産 -

【預金・預り資産 平残推移】

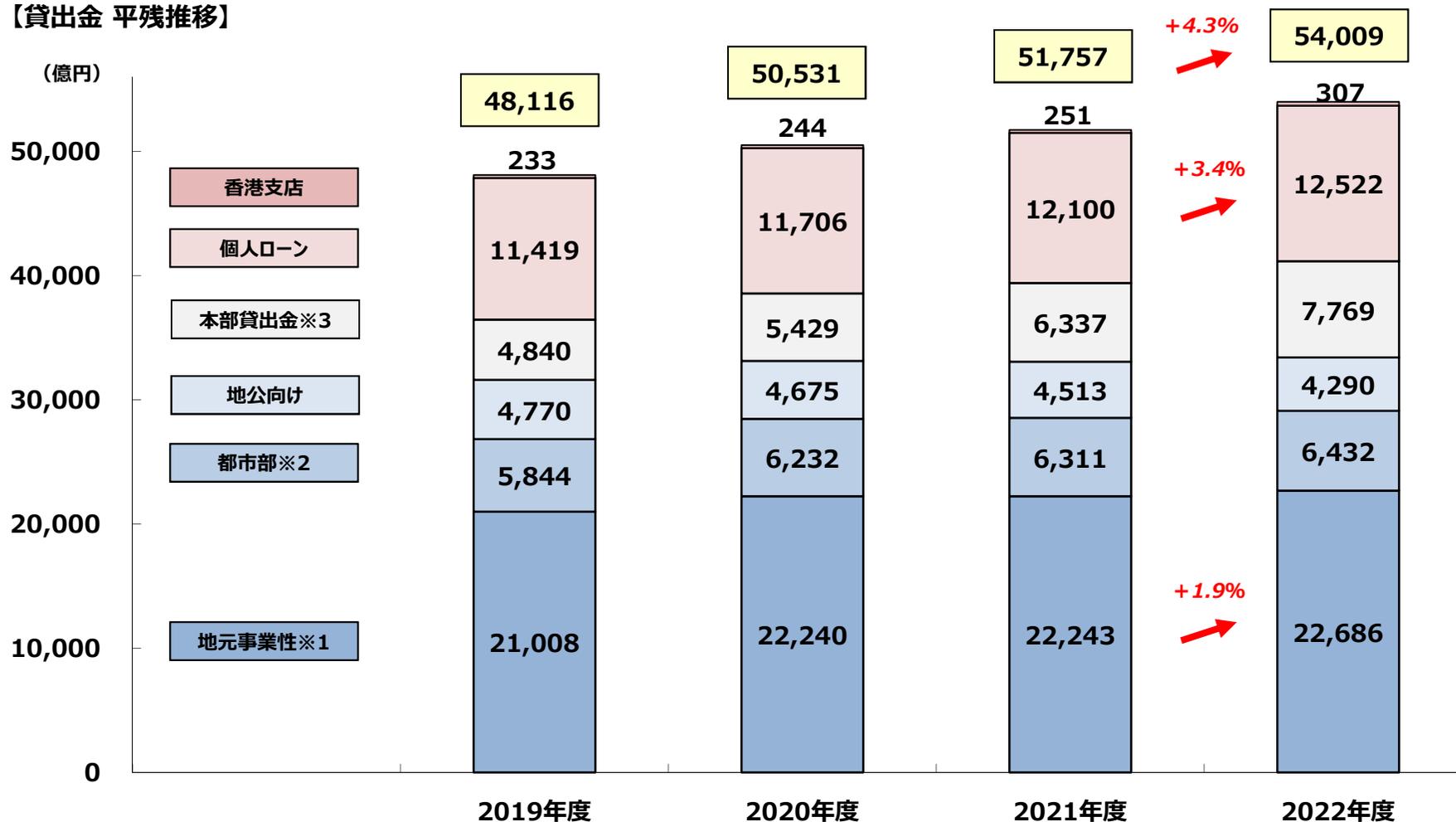


※金融商品仲介は取得価額ベースの平残。公共債は額面ベースの平残。保険は解約を考慮したベースの平残。投資信託は純資産ベース（確定拠出年金含む）の平残。

- ・コロナ禍での手元資金確保や費消の抑制等は収まりつつあるが、預金+NCDは個人・法人とも堅調に増加。
- ・引続き、安定した入金パイプを拡大するとともにお客様の資産運用ニーズにも応えることで総預り資産総体での増加を目指す。

# 主要勘定② - 貸出金 -

【貸出金 平残推移】



※1 地元：東京・大阪以外の地区    ※2 都市部：東京・大阪    ※3 本部貸出金：非日系・SFセンター

・地元事業性は、シェア拡大に向けた営業強化や一部では原材料費高騰による資金需要の高まりもあり、年率1.9%。  
個人ローンは、住宅ローンを中心に堅調な伸びを維持。本部貸出金は、預金増加等に対応してリスクを抑制しながら残高積上げ。  
貸出金総体では前年比+4.3%の増加。

## 主要勘定② - 貸出金 -

### 業種別貸出状況等

#### I. 業種別貸出金【中国銀行単体】

(百万円)

	2023年3月末		2022年9月末	2022年3月末	
		2022/9比			2022/3比
国内店分	5,529,370	141,726	284,714	5,387,644	5,244,656
製 造 業	752,854	69,252	54,708	683,602	698,146
農 業、林 業	11,341	▲ 138	▲ 247	11,479	11,588
漁 業	2,643	225	330	2,418	2,313
鉱業、採石業、砂利採取業	2,552	▲ 154	35	2,706	2,517
建 設 業	161,761	12,588	6,933	149,173	154,828
電気・ガス・熱供給・水道業	297,553	8,907	27,765	288,646	269,788
情 報 通 信 業	10,475	▲ 448	▲ 818	10,923	11,293
運 輸 業、郵 便 業	253,462	4,647	10,247	248,815	243,215
卸 売 業、小 売 業	576,062	17,660	19,058	558,402	557,004
金 融 業、保 険 業	598,632	▲ 2,287	60,549	600,919	538,083
不 動 産 業、物 品 賃 貸 業	776,436	27,970	47,602	748,466	728,834
各 種 の サ ー ビ ス 業	329,491	729	▲ 123	328,762	329,614
地 方 公 共 団 体	413,405	▲ 16,095	▲ 22,005	429,500	435,410
そ の 他	1,342,698	18,870	80,682	1,323,828	1,262,016

## Ⅱ. 業種別リスク管理債権【中国銀行単体】

(百万円)

	2023年3月末		2022年9月末	2022年3月末	
		2022/9比	2022/3比		
国内店分	107,860	8,937	12,139	98,923	95,721
製 造 業	25,251	3,513	4,963	21,738	20,288
農 業、林 業	5,210	3,616	3,609	1,594	1,601
漁 業	169	-	-	169	169
鉱業、採石業、砂利採取業	7	▲ 168	▲ 176	175	183
建 設 業	5,651	583	▲ 14	5,068	5,665
電気・ガス・熱供給・水道業	97	▲ 1,274	▲ 1,282	1,371	1,379
情 報 通 信 業	993	53	54	940	939
運 輸 業、郵 便 業	6,489	640	1,171	5,849	5,318
卸 売 業、小 売 業	24,310	441	2,421	23,869	21,889
金 融 業、保 険 業	919	▲ 13	▲ 21	932	940
不 動 産 業、物 品 賃 貸 業	7,873	▲ 41	▲ 678	7,914	8,551
各 種 の サ ー ビ ス 業	20,402	1,379	1,826	19,023	18,576
地 方 公 共 団 体	-	-	-	-	-
そ の 他	10,481	204	264	10,277	10,217

## 主要勘定② - 貸出金 -

### 海外向け貸出状況等

I. 特定海外債権は該当ありません。

### II. 地域別貸出金【中国銀行単体】

(百万円)

	2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
		2022/9比	2022/3比		
アジア	80,855	▲ 3,579	10,175	84,434	70,680
うちリスク管理債権	1,842	384	59	1,458	1,783
中東	9,047	▲ 1,678	▲ 793	10,725	9,840
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
北米	294,250	585	75,097	293,665	219,153
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
中南米	567	▲ 362	▲ 272	929	839
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
西欧	135,321	▲ 83	15,463	135,404	119,858
うちリスク管理債権	-	▲ 539	▲ 659	539	659
東欧・ロシア等	1,341	▲ 192	▲ 255	1,533	1,596
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
オセアニア	20,710	▲ 1,246	6,503	21,956	14,207
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
アフリカ	-	-	-	-	-
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
合計	542,094	▲ 6,555	105,916	548,649	436,178
うちリスク管理債権	1,842	▲ 155	▲ 601	1,997	2,443

\* 東欧・ロシア等はトルコ共和国向けです。

## 主要勘定② - 貸出金 -

### 貸倒引当金等の状況

【中国銀行単体】

(百万円)

	2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
		2022/9比	2022/3比		
貸倒引当金	50,496	1,313	2,010	49,183	48,486
一般貸倒引当金	27,579	▲ 139	513	27,718	27,066
個別貸倒引当金	22,917	1,452	1,497	21,465	21,420

### 保全状況

#### 金融再生法開示債権の保全状況

【中国銀行単体】

(百万円)

		2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
			2022/9比	2022/3比		
金融再生法開示債権額	A	107,860	8,937	12,139	98,923	95,721
担保等の保全額	B	48,899	4,425	4,971	44,474	43,928
貸倒引当金	C	23,901	1,351	1,600	22,550	22,301
保全率 (%)	(B + C) / A	67.4	▲ 0.3	▲ 1.7	67.7	69.1

(ご参考：部分直接償却を実施した場合)

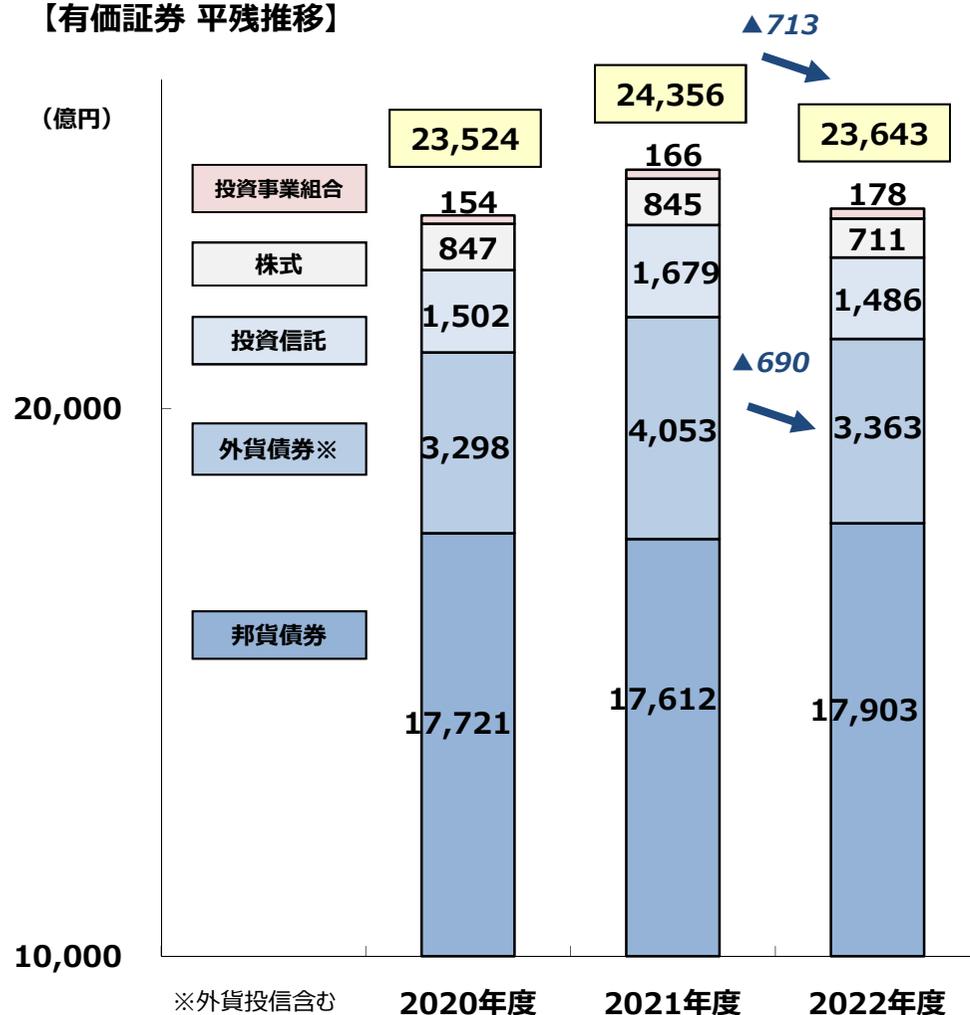
【中国銀行単体】

(百万円)

		2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
			2022/9比	2022/3比		
金融再生法開示債権額	A	96,963	10,774	14,400	86,189	82,563
担保等の保全額	B	48,899	4,425	4,971	44,474	43,928
貸倒引当金	C	13,004	3,188	3,860	9,816	9,144
保全率 (%)	(B + C) / A	63.8	0.9	▲ 0.4	62.9	64.2

# 主要勘定③ - 有価証券 -

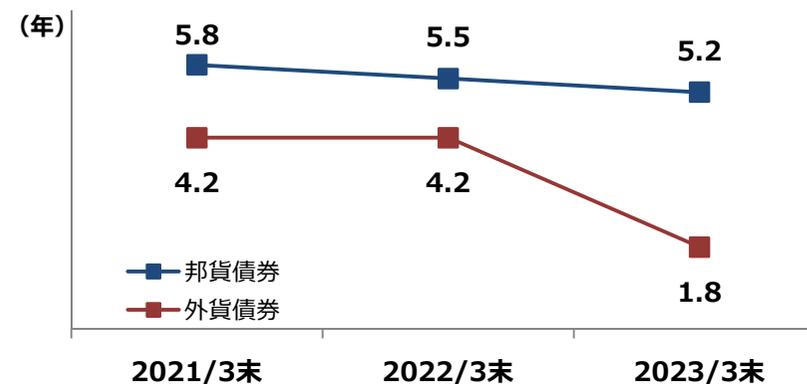
【有価証券 平残推移】



【評価損益】

(億円)	2022/3末	2023/3末	前年比
合計	945	462	▲ 483
満期保有目的	1	1	▲ 0
その他有価証券	944	461	▲ 483
うち株式	537	392	▲ 145
うち投信	483	259	▲ 224
うち外貨債券	▲ 120	▲ 117	3
うち邦貨債券	38	▲ 66	▲ 104

【債券デュレーション】



・外貨債券のポートフォリオ改善のため低利回り資産の売却を進めたことから、前年比 ▲ 713 億円。

(外貨債券のデュレーションは4.2年→1.8年に大きく短縮)

・引続き、国内外の金利動向や不安定な相場環境に配慮した慎重な運用を行う方針。